

— 地域での発達障害支援を考えよう —

うちの子、少し違うかも・・・Final

発達障害者(児)の乳幼児期から成人期までのライフステージに応じて医療・療育・教育等の様々な視点で、研究者や現場支援者から、エビデンスに基づく地域での実践例を紹介します。

講演やパネルディスカッションを通じて、発達障害の有無にかかわらず

誰もが多様で豊かな人生を送ることのできる社会の実現のために、『医師等による医療』と

『保健師・保育士・教員・家族等による生活支援』の両輪が『地域』の中でエビデンスに基づいて

提供されるための具体的方策を分野・領域を超えて、皆さんとともに考えます。

登壇者

講演／パネルディスカッション



大石 幸二
立教大学現代心理学部
心理学科教授



神尾 陽子
お茶の水女子大学
人間発達教育科学研究所
客員教授



熊 仁美
NPO法人ADDS
共同代表



近藤 直司
大正大学心理社会学部
臨床心理学科教授



外岡 資朗
鹿児島県
こども総合療育センター所長

開催日時

11月11日 日

13:00～16:00 [受付]12:50～

入場無料

事前登録について

下記QRコード、もしくはウェブサイトからお申し込みください。



お申し込み、詳細はこちら

<https://ristex.jst.go.jp/info/event/pasother/2018.html>

※定員に達し次第締め切り(空席状況によって当日参加も可能)

場所

テレコムセンタービル
8階 会議室B

- 新交通ゆりかもめ
「テレコムセンター駅」直結
- 東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車 徒歩19分

